



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社JMC 上場取引所 東  
 コード番号 5704 URL <https://www.imc-rp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 渡邊 大知  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 篠崎 史郎 TEL 045-477-5751  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	571	△37.2	△30	—	△5	—	△6	—
2019年12月期第1四半期	909	36.8	226	251.6	225	222.7	152	244.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△1.31	—
2019年12月期第1四半期	29.03	27.33

(注) 2020年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	3,872	2,247	58.0	425.48
2019年12月期	3,682	2,254	61.2	426.79

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 2,247百万円 2019年12月期 2,254百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

3. 新型コロナウイルス感染症の拡大による事業活動への影響が見込まれ、現時点では業績予想の合理的な算出が困難であることから、2020年2月13日に公表した業績予想をいったん取下げ、未定とさせていただきます。

今後、業績予想の算定が可能となった時点で、速やかな情報開示に努めます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	5,282,100株	2019年12月期	5,282,100株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	300株	2019年12月期	271株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	5,281,807株	2019年12月期 1 Q	5,243,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦や海外の政治情勢の不安定化が継続していることに加え、直近では新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済、株価等の動向は不確実であり、先行き不透明な状況となっております。

このような状況下、当社を取り巻く試作・開発市場は、前事業年度後半から継続している米中貿易摩擦に伴う業況低迷、中国をはじめ東アジア諸国における景気減速に起因した自動車産業界を覆う景気悪化は、回復の兆しが見えず、厳しい状況が継続いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高571,073千円（前年同四半期比37.2%減）、営業損失30,544千円（前年同四半期は営業利益226,877千円）、経常損失5,857千円（前年同四半期は経常利益225,452千円）、四半期純損失6,902千円（前年同四半期は四半期純利益152,212千円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 3Dプリンター出力事業

3Dプリンター出力事業におきましては、「短納期」・「高品質」の強みを活かした営業及び製造に注力し、また、顧客ニーズに最適な試作工程の提案を積極的に進め、顧客の拡大を図ったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大による、展示会への出展中止や顧客の営業活動（来社・訪問）自粛等が影響し、売上高は減少いたしました。

一方で、心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID（ハートロイド）」においては、引き続き国外での営業に注力しつつ、国内需要喚起のための営業活動が奏功し、売上高が伸張し、セグメント利益に貢献いたしました。

しかしながら、前事業年度より開始しております医療機器販売においては、カテーテル被覆保護材「セキュアポートIV（アイブイ）」（医療機器届出番号：14B1X0020000001）の販売が進まず、使用期限の有る滞留在庫を評価損計上したため、当該事業のセグメント利益を押し下げる結果となりました。

この結果、3Dプリンター出力事業の売上高は133,199千円（前年同四半期比11.0%減）、セグメント利益は17,962千円（前年同四半期比53.8%減）となりました。

#### ② 鋳造事業

鋳造事業におきましては、ミーリングセンター（静岡県浜松市浜北区）を本稼働させ、加工工程の生産体制を拡充し、内製化及び技術的難易度の高い案件への対応を進め、受注獲得に注力して参りましたが、前事業年度後半から継続している自動車産業界における試作・開発市場の景気不透明感による受注の件数及び金額が伸び悩んでいる状況であり、また、前年同四半期は主要顧客からの一時的な受注増加があったことも影響し、前年同四半期と比較して売上高、セグメント利益ともに大幅に減少いたしました。

この結果、鋳造事業の売上高は258,924千円（前年同四半期比54.8%減）、セグメント損失は35,178千円（前年同四半期はセグメント利益254,066千円）となりました。

#### ③ CT事業

CT事業におきましては、産業用CTのすべてのX線出力領域（ミリ／マイクロ／ナノフォーカス／高エネルギーX線）を撮像対象物に応じて使い分け、最適かつ高精度な検査・測定サービスの提供を行っております。

当第1四半期累計期間においては、季節的要因に起因する特定顧客の撮像需要が増加したこともあり、順調に売上高が伸張いたしました。

この結果、CT事業の売上高は207,871千円（前年同四半期比5.9%減）となりました。これは、高額である装置販売が前年同四半期に1台あったため、売上高が前年同四半期比で減少しております。なお、検査・測定サービスの売上高は前年同四半期比で増加しております。セグメント利益は118,580千円（前年同四半期比66.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,173,203千円となり、前事業年度末に比べ163,748千円増加いたしました。これは主にその他に含まれる前渡金が80,726千円、現金及び預金が56,270千円、受取手形及び売掛金が53,720千円増加したことによるものであります。

固定資産は2,699,209千円となり、前事業年度末に比べ26,428千円増加いたしました。これは主にリース資産が24,690千円、建物が18,660千円減少したものの、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が71,366千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,872,412千円となり、前事業年度末に比べ190,176千円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は731,804千円となり、前事業年度末に比べ209,180千円増加いたしました。これは主に短期借入金100,000千円、買掛金が58,063千円、未払金が43,380千円増加したことによるものであります。

固定負債は893,298千円となり、前事業年度末に比べ12,066千円減少いたしました。これは主に長期借入金13,866千円増加したものの、リース債務が22,758千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,625,103千円となり、前事業年度末に比べ197,114千円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,247,309千円となり、前事業年度末に比べ6,937千円減少いたしました。これは主に四半期純損失を6,902千円計上したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本を含む世界経済に対する、先行き不透明感が急速に拡大しており、景気減速の可能性が高まっております。

当社におきましても、各事業において受注状況は刻々と厳しさを増しており、新型コロナウイルス感染症の拡大の終息状況を見通せないことから、2020年12月期の業績予想を合理的に算出することが困難となっております。

従いまして、2020年2月13日に公表いたしました2020年12月期の業績予想は、いったん取下げ、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに情報開示する予定であります。

詳細につきましては、本日発表いたしました「2020年12月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	298,540	354,810
受取手形及び売掛金	376,405	430,125
商品及び製品	31,579	18,204
仕掛品	49,211	70,785
原材料及び貯蔵品	62,187	65,518
前払費用	29,160	29,354
その他	162,456	204,685
貸倒引当金	△86	△283
流動資産合計	1,009,454	1,173,203
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,449,678	1,431,017
機械及び装置（純額）	146,152	139,456
土地	313,986	314,065
リース資産（純額）	436,310	411,620
その他（純額）	211,718	282,432
有形固定資産合計	2,557,846	2,578,592
無形固定資産	37,798	42,467
投資その他の資産	77,135	78,148
固定資産合計	2,672,781	2,699,209
資産合計	3,682,235	3,872,412
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	78,239	136,302
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	110,204	134,038
リース債務	125,173	115,832
未払金	154,863	198,244
未払法人税等	9,383	5,307
賞与引当金	26,687	15,510
製品保証引当金	1,846	352
その他	16,224	26,216
流動負債合計	522,624	731,804
固定負債		
長期借入金	455,796	469,662
リース債務	355,406	332,647
資産除去債務	87,656	87,820
その他	6,506	3,168
固定負債合計	905,364	893,298
負債合計	1,427,988	1,625,103
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	780,244	780,244
資本剰余金	767,244	767,244
利益剰余金	707,127	700,224
自己株式	△368	△403
株主資本合計	2,254,247	2,247,309
純資産合計	2,254,247	2,247,309
負債純資産合計	3,682,235	3,872,412

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	909,680	571,073
売上原価	480,024	384,918
売上総利益	429,656	186,154
販売費及び一般管理費	202,778	216,698
営業利益又は営業損失(△)	226,877	△30,544
営業外収益		
受取利息	4	2
補助金収入	—	26,900
業務受託料収入	654	—
受取保険料	—	451
その他	93	866
営業外収益合計	751	28,220
営業外費用		
支払利息	2,176	3,145
為替差損	—	361
その他	—	26
営業外費用合計	2,176	3,533
経常利益又は経常損失(△)	225,452	△5,857
特別利益		
固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産除却損	303	1,435
特別損失合計	303	1,435
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	225,159	△7,293
法人税、住民税及び事業税	56,576	2,884
法人税等調整額	16,369	△3,275
法人税等合計	72,946	△390
四半期純利益又は四半期純損失(△)	152,212	△6,902

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 出力事業	鑄造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	149,637	539,151	220,890	909,680	—	909,680
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	33,554	—	33,554	△33,554	—
計	149,637	572,706	220,890	943,235	△33,554	909,680
セグメント利益	38,866	254,066	71,196	364,128	△137,250	226,877

(注) 1. セグメント利益の調整額△137,250千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 出力事業	鑄造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	133,199	230,002	207,871	571,073	—	571,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	28,922	—	28,922	△28,922	—
計	133,199	258,924	207,871	599,995	△28,922	571,073
セグメント利益又は損失 (△)	17,962	△35,178	118,580	101,364	△131,908	△30,544

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△131,908千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。



## (重要な後発事象)

## (譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行)

当社は、2020年3月27日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行うことについて、下記のとおり決議し、2020年4月20日に払込手続が完了いたしました。

## 1. 発行の目的及び理由

当社は、2019年2月13日開催の取締役会において、当社の取締役（社外取締役を除きます。以下「対象取締役」といいます。）に対して、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、対象取締役と株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」という。）を導入することを決議いたしました。なお、2019年3月27日開催の第27回当社定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式の交付のために対象取締役に対して年額120,000千円以内の金銭報酬債権を支給すること、年15,000株以内の譲渡制限付株式を交付すること等につき、承認されております。

## 2. 発行の概要

(1) 払込期日	2020年4月20日
(2) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 9,300株
(3) 発行価額	1株につき522円
(4) 発行価額の総額	4,854,600円
(5) 資本組入額	1株につき261円
(6) 資本組入額の総額	2,427,300円
(7) 募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
(8) 出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
(9) 株式の割り当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	当社取締役（社外取締役を除く） 4名 9,300株
(10) 譲渡制限期間	2020年4月20日から2023年4月19日